

## 6 郡市活動報告

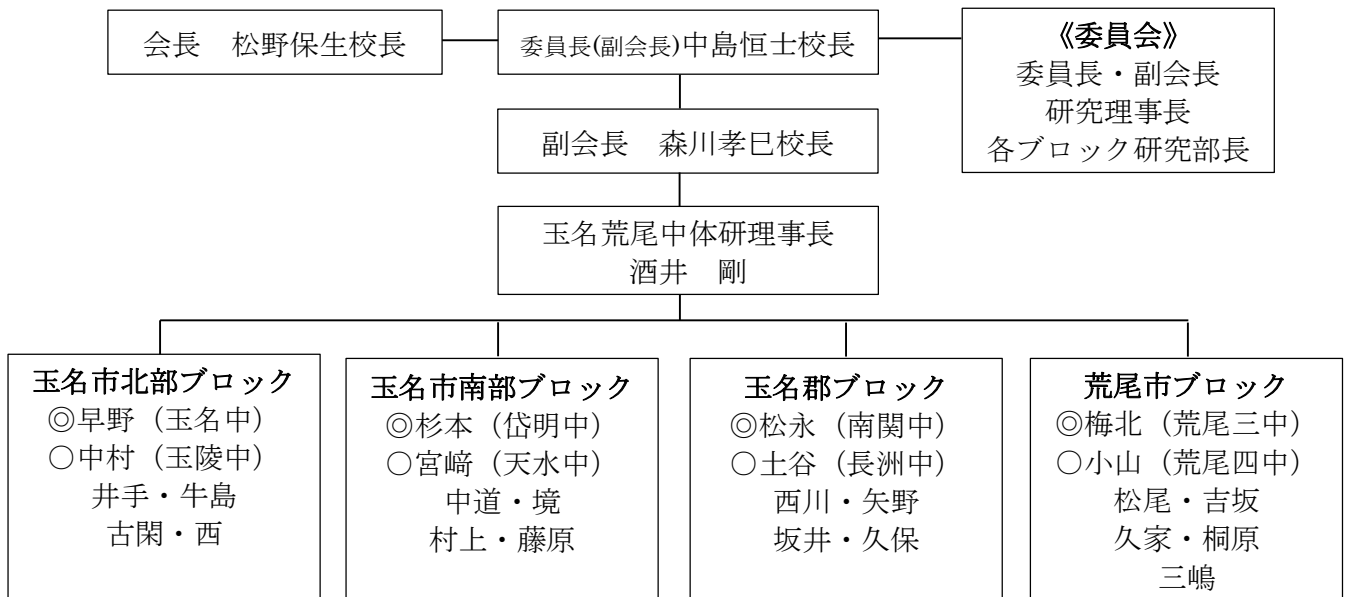
### 玉名荒尾中体研

理事長 酒井 剛

#### 1 はじめに

玉名荒尾中体研は、松野保生会長（玉南中学校）、中島恒士委員長（荒尾第四中学校）を中心に玉名郡市13校、荒尾3校の体育担当で構成されている。今年度は予定していた内容ができなかったが、新型コロナウイルス感染症対策の中でどのように教育活動を継続していくかや新学習指導要領移行への対応等について、その成果と課題の共有などを行った。この取り組みを土台とし、来年度以降の実践・研究へとつなげていきたい。

#### 2 研究組織



#### 3 活動状況

会議等	期日	内容
1 教育会教科等全体会	4月22日(水)	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
2 第1回教科等研修会(実技研)	8月19日(水)	同上
3 第2回教科等研修会(授業研)	10月27日(火)	同上
4 第48回熊本県中学校保健体育研究発表大会	11月27日(金)	水俣芦北郡市 会場:水前寺共済会館グレースシア
5 第2回評議員会	2月17日(水)	年間活動報告・反省 来年度への志向

## 研究テーマ

積極的に運動に親しみ、活力のある児童生徒を育成する保健体育学習のあり方  
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを通して～

内容1  
学習指導要領  
移行への取組

内容2  
体力向上への  
教材・教具開発

内容3  
小・中連携  
取組の継続

内容4  
実技研修会の  
実施

内容5  
授業研修会の  
実施

## 5 研究の概要

### (1) 緊急事態宣言解除後の教育活動について

学校休業期間中に各校で分担して、学習指導要領を基に時数削減可能な領域や内容を精選し、それらをまとめて全校へ提供した。その後、各中学校での部活動や競技大会における感染症対策、体育大会(代替行事)の内容や入場制限、接触を伴う授業での感染症対策や内容をどの程度取り組むか等について情報交換を行い、各校の実情を踏まえながら実践した。

### (2) 学習指導要領移行への取組



単元終了時に期待される姿の明示、話し合いの視点の整理などにより、話し合い活動がより活発化した。

主体的・対話的で深い学びの実現へ向け、各校で授業づくりを行った。保健体育における「見方・考え方」について教師側が整理し、単元のゴールの姿を生徒と共有して、生徒主体の授業になるように工夫しながら取り組んだ。年度末には各校で今年度作成した指導案、構想案、学習カード、プレゼンテーションをとりまとめ、配付した。

## 6 まとめ(成果と課題)

実技研究会や授業研究会が開催できずに従来の研究を深めることが難しかったが、緊急事態宣言による学校休業後の段階的な教育活動再開について、各校で情報共有・協議しながら実践を続けた。

来年度は、引き続き感染症対策をしながら教育活動をどう構築していくか考えるとともに、延期されたオリンピック・パラリンピックへ向けた取り組みの強化、新学習指導要領移行を見据えた研究に関するテーマを設定して実践したい。